

援農ボランティアの お誘い

令和三年



自然食の店まほろば
代表取締役社長 **大橋和則**

違った角度から見ると…

まほろば自然農園への援農を初めて3年目。

自然の営みは変わることなく、寒かった冬を乗り越え、柔らかい日差しと共に春を迎えました。

皆様、コロナ禍の中、如何お過ごしですか？毎日マスクでは朝から晩までコロナ特集が1年も続き、コロナ脳になっているのではないのでしょうか？

まほろばでも当初、未知のウイルスとしてかなり警戒し、感染対策を徹底してきました。しかし、昨年のアメリカ大統領選挙を切っ掛けに、色々な角度から情報を精査していくと、コロナの報道も偏った情報に操作されているのでは？と、疑いの目で見みるようになってきました。

以下は私の独り言です。

コロナが騒がれた昨年の日本での死者数はどう

- だったのか、と調べてみました。厚生労働省は、
- 例年10月までの人口動態統計の速報から12月末
- に年間推計を公表しています。ところが、昨年は
- 発表されませんでした。理由は「例年と動向が異なる」としてです。

- 漸く今年2月22日に発表されましたが、毎年
- 出ている死因別データが今年には載っていません。
- 近年の死亡数は、高齢化により年平均2万人ほど
- 増えていましたが、**驚いたことに昨年2020年の死亡数は2019年に比べて9,373人(0.7%)も減っていました。**皆様ご存じでしょうか？

- 減少は11年ぶりです。毎年高齢化で2万人ずつ
- 増えていることを考慮すると、昨年は約3万人の減少になります。

- 昨年の2月13日に、初めてコロナが原因と思われる死亡が確認され、今年の2月13日までの1年
- 間で、感染者は（一応PCR検査が正しかったとし

まほろば

No.5224 21-050 4/2

て) 415,448 人、死亡者数は 7,144 人です。ところが、この中には指定感染症の 2 類にしているが為、他の疾患に掛かっていた方が多く含まれることは明らかです。因みに **2019 年の季節性インフルエンザの統計ですが、年間感染者は約 1,000 万人、感染し直接死が 3,571 人、間接死約 1 万人となっています。集団感染（クラスター）も、東京都では 2019 年に 2,000 件から 5,000 件発生していました。**

人口動態統計は、コロナの社会的ダメージを知る客観的な指数であると、素人の私は思います。日本に於いて死亡者は 3 万人も減少していますし、2018 年の年間の死亡数で比較しますと、コロナ死数は 13 位くらいになります（別表参照）。天然痘やエボラ出血熱のような致命的な感染症であれば、過剰なほどの対策でもまだ足りないということも起こり得るでしょうが、日本に於いてコロナは、それほど危険な感染症で無いことは数字を見ると明らかです。



東京大学名誉教授で食の安全・安心財団理事長の唐木英明氏は、「感染者数がピークでも 1 日 2 千～3 千人で済んでいる日本は、5 万～20 万人の欧米から見れば感染対策に成功している。

順位	病名	年間（人）	一日（人）
1	悪性新生物（ガン）	37 万 3,584	1,023.5
2	心疾患（心筋梗塞など）	20 万 8,221	570.4
3	老衰	10 万 9,605	300.2
4	脳血管疾患 （くも膜下出血など）	10 万 8,186	296.4
5	肺炎	9 万 4,661	259.3
6	不慮の事故 （火災・転倒など）	4 万 1,238	112.9
7	腎不全	2 万 6,081	71.4
8	自殺	2 万 31	54.8
9	肝疾患	1 万 7,275	47.3
10	糖尿病	1 万 4,181	38.8
11	高血圧性疾患	9,581	26.2
12	慢性気管支炎及び肺気腫	8,459	23.1
13	コロナウイルス	7,144	19.5
14	インフルエンザ	3,325	9.1
15	交通事故	3,215	8.8
16	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	2,521	6.9
17	結核	2,204	6
18	殺人	363	0.99
19	落雷	年平均 13	0.03
20	食中毒	4	0.01
21	熊に襲われる	1	0.002

※ 2018 年人口動向調査をもとにコロナウイルスを加算。
交通事故、熊、食中毒は 2019 年データ。

先月のまほろばたよりの会長による『コロナと生きる』にも記載していましたが、コロナ死とされる大多数が高齢者で、尚且つ慢性疾患の方が多いので、本当のコロナ死はかなり少ないような気

がします。普通、人口動態統計は 1 年ごとで報告されますが、コロナは累計人数で報告していきますので、日毎に増えていきます。

毎日マスメディアの死亡者数を見ると、かなり多いと思っていましたが、数字のマジックに惑わされてしまいます。死亡数の順位で行くと、自殺者対策の方が緊急事態と感じます。

医療現場の逼迫も常に話題になっていますが、指定感染 2 類相当として取り扱っているからであり疑問を感じます。

欧米の状況と比較するのは重要で、多くの政治判断は相対的な基準を拠り所に行われるからです。たとえば 10 万人当たりの感染者数をくらべれば、2 類扱いを維持すべきかどうかは明らか。2 類扱いだから医療が逼迫し、指定病院は一般患者が遠のいて赤字になり、医療関係者や保健所はオーバーワークを強いられ、その家族まで風評被害を受ける。インフル同様 5 類にすれば受け入れ可能な病院も増えるのに、それができないのは、新型コロナは“死ぬ病気だ”という意識を国民に植えつけた専門家、テレビ、新聞のせいです」と語っています。

昨年の 12 月 8 日に、全国保健所長会が厚労大臣宛てに「緊急提言」を送っています。「新型コロナウィルスは現在指定感染症（2 類相当以上）の扱いだが、これを緩めてほしい」というものです。メディアは保健所の逼迫を受けて「医療崩壊だ」「外出するな」と叫んでいます。本当に必要なことは、指定感染症 2 類扱いの見直しと、マスコミの偏った過剰報道にあると思います。皆様も、ぜひ様々な角度から判断されることをお勧めします。



しょうこくかみん 「小国寡民」の夢に向かって

さて頭を切り替えて援農の話に戻りますが、昨年はコロナ禍の中、延べ350名ほどの方にご参加いただきました。この場をお借りしまして感謝申し上げます。

度々紹介させて頂いていますが、まほろばの企業理念に老子の説いた「小国寡民」があります。「国は小さく、民は寡（少）なくあるべし」という理想の国は、自給自足が出来るように、狭い国土で人民が少なく、便利な乗り物をあまり用いず、食べ物はあるけど、その土地の普通の食べ物で満足して、自分の国の土地に満足し、けっして隣の国を「うらやましい」とお互いに思わない。

この拠点となるのがまほろば自然農園と考えています。



6年前より会長・顧問が机上の理想論ではなく、実際に土に触れ、風を感じ、太陽を浴び、地道に自らの生命を削りながら老体に鞭打ち、私財を投じて農作業に励んでいます。

この現状を何とかしたいという思いと、色々な人が農作業を通して自分を見つめ直し、自分の価値を再認識し、生命の大切さや自分が自然の一部だと感じて欲しい等々…の思いが募っていました。これまで、ご縁のある方々にご参加いただき意見交換していますと、「まほろば自然農園の近くで農業をしたい」と思う方や、「宿泊施設が合ったらいいよね」、「農園レストランをやりたい」、「醸造の里を造りたい」等の夢が膨んできました。

いよいよ機が熟し、今年は少し現実化させる第一歩として、援農から少し発展させ、従業員の中から厚別店の穂積店長に白羽の矢を立て、出向として、まほろば自然農園で働いてもらい、会長・顧問の時間的余裕をつくって、情報発信

● や新商品の開発、勉強会、交流会をして行きたい
● と思います。特に顧問には、このままでは「出す
● 出す詐欺（笑）」になりつつある食養の本の執筆時
● 間を確保して貰いたいと思っています。

● 器がまほろば自然農園とすると、材料は人材。
● 時が来たかのように多種多様な人が自然に集まり、
● 発酵が始まって来たように感じます。

● 占星術的にも、これまでは「土の時代」でした。
● 土の時代では、金銭・物質・権威等が重視されます。
● 対してこれからの「風の時代」では、知性・コミュ
● ニケーション・個人等が重視されるようになり、
● 価値観が大きく変化し、新しい生き方が求められ
● ています。

● コロナ禍だから
● こそ、生命力のあ
● る食品を食べ、土
● に触れ、太陽の下
● で汗を流すこと
● で自己免疫が上が



● り、笑顔になります。世の中、先行きが見えない
● 暗い話ばかりですが、余り難しい事を考えず、自
● 分を解放し、貴方もまずは援農からまほろばの夢
● づくりに参加して発酵に加わり、夢と希望を膨ら
● ませてみませんか？ きっと「へうげみそ」の様な、
● 複雑な味を醸し出してくれると思いますし、明る
● い未来がその先に待っていると思います。

● 考え込むと眉間にしわが寄り、口元がへんの字で
● 顔が×印になり、笑顔になると眉が下がり、口
● 元が上がって◎印になります。世の中◎印を多く
● したいですね。

● 援農の受け入れも、昨年以上に柔軟に対応でき
● るかと思しますので、皆様どうぞ奮ってご参加く
● ださいませ。



